

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	03	01	02	134090	高齢者介護予防対策事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-5	福祉の充実			
	施策	2	高齢者福祉の充実			
目的	介護予防の推進					
対象	高齢者等					
意図	高齢者が要介護状態にならないようにする					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○湯のまちホット交流サービス 60歳以上の市民からなる4人以上の団体に対し、市と契約した23の温泉施設等において入浴及び部屋での休憩を無料で提供。(26年8月～大迫のぶどうの湯を追加)</p> <p>○生きがい活動支援通所(生きがいデイサービス) 介護認定されていない高齢者に対し、市内23箇所のデイサービスセンターで日常動作訓練、創作趣味活動、健康チェック等を行う。</p> <p>○いきいきホーム 市の施設である介護予防拠点施設「はつらつ長寿館」で健康チェック、食事、生活指導、介護予防のための運動を実施。</p>						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標(上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	湯のまちホット交流サービス利用延べ人数		計画	35,740	36,414	
			実績	35,024	33,460	
②	生きがいデイサービス利用延べ人数		計画	6,900	6,838	
			実績	4,674	4,444	
③	いきいきホーム利用延べ人数		計画	2,690	2,690	
			実績	2,450	2,192	
成果指標(上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	介護保険要支援・要介護認定者の割合	人	目標	21.0	21.1	
			実績	19.8	19.7	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
介護保険要支援・要介護認定者の割合(H29.3末) 6,276人(第1号被保険者の要介護認定者数) / 31,741人(第1号被保険者数) × 100 = 19.7% 従前からの各年度において0.1の増加に留めた指標設定。 (介護保険要支援・要介護認定者の割合は今後も増加していくことが見込まれるが、本事業によりその増加を抑えるもの。) 第1号被保険者の要介護認定者数減少に伴い目標値を下回っている。生きがいデイサービスなど的高齢者介護予防対策事業に併せ、地域の実情に応じた各種介護予防の取り組みも要因の一つと思われる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	高齢者の介護予防の重要性を啓発し関心を高めていくため、高齢者に対する本事業の周知を地域包括支援センターや介護サービス事業所等関係機関の協力を得てより進めていく必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	高齢者の介護予防推進には各種事業への参加者が増えていくことが重要であるため、国の制度改革を見据えながら事業効果の創出に努める必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	当該事業は最少経費で実施しており削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	生きがいデイサービスについては、利用者へのアセスメントを実施し当該事業利用の是非を検討している。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>○湯のまちホット交流サービス事業は事業開始当初からの温泉施設等に負担のかからない「平日日中の利用」の原則に統一した事業設定を継続。</p> <p>①平日の利用(土日祝日を除く。) ②日中の利用(午前10時～午後3時の間の利用)</p> <p>○生きがいデイサービス事業は、介護保険法改正に伴う介護予防における通所型サービスに移行的のため廃止とする。</p> <p>○いきいきホーム事業は、指定管理施設である介護予防拠点施設の活用事業であり事業の継続を図る。平成2年から事業を開始していることもあり、高齢者に根付いている事業である。バスの送迎においても、交通手段のない高齢者が気軽に介護予防できる事業となっている。</p>		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	01	02	134090	高齢者介護予防対策事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		37,192	35,609		△ 1,583
財源内訳	国・県				
	地方債	3,800	3,800		
	その他	9,298	9,322		24
	一般財源	24,094	22,487		△ 1,607

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯
介護保険法施行前から実施されていたものであるが、虚弱な高齢者に対し、身体能力を現状維持または要介護・要支援にならないよう適切な事業を実施することとなったもの。湯のまちホット交流サービス事業は老人福祉センターの施設廃止に伴い22年度から開始されたもの。

事業概要
○湯のまちホット交流サービス
60歳以上の市民からなる4人以上の団体に対し、市と契約した23の温泉施設等において入浴及び部屋での休憩を無料で提供。(26年8月～大迫のぶどうの湯を追加)
○生きがい活動支援通所(生きがいデイサービス)
介護認定されていない高齢者に対し、市内23箇所のデイサービスセンターで日常動作訓練、創作趣味活動、健康チェック等を行う。
○いきいきホーム
市の施設である介護予防拠点施設「はつらつ長寿館」で健康チェック、食事、生活指導、介護予防のための運動を実施。

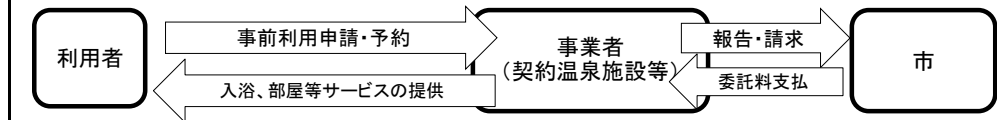
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
○湯のまちホット交流サービス事業
事業の在り方の検討
○生きがいデイサービス事業
介護保険制度改正に伴う制度設計
○いきいきホーム事業
はつらつ長寿館の指定管理の選定(花巻農協)
(H16～利用料金制、更新H27～36)

担当部署 部名 健康福祉 課名 長寿福祉 担当係長 高橋 朱里 内線 514

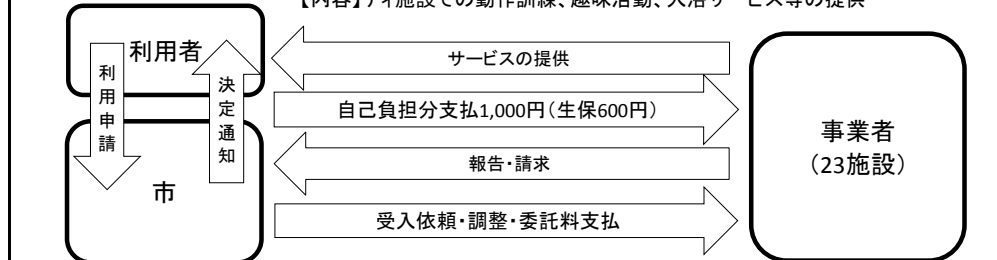
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

① 湯のまちホット交流サービス事業委託料 20,195千円
【目的】温泉施設等を活用した高齢者の趣味活動、交流促進の場の提供と高齢者の健康増進
13節委託料:20,036千円【委託先】市内契約温泉施設等23施設【委託料単価】600円/人(ぶどうの湯300円/人)
11節消耗品費:159千円【内容】契約温泉施設等への入浴及び休憩を無料で提供。(平日・10時～15時内)
【利用対象者】60歳以上の市民で4人以上の団体(要件あり)



② 生きがい活動支援通所事業(生きがいデイサービス)委託料11,554千円
【目的】在宅高齢者に対し通所による各種サービスを提供、自立生活助長、心身機能向上、閉じ籠り防止を図る。
13節委託料:11,554千円【委託先】市内契約通所介護施設23施設【委託料単価】2,600円/人(生保3,000円)
【内容】デイ施設での動作訓練、趣味活動、入浴サービス等の提供



③ いきいきホーム事業委託料 3,860千円
【目的】はつらつ長寿館を会場に介護予防事業を開催、高齢者等の介護予防を図る。
【委託先】花巻農業協同組合
【委託料単価】27,772円/1回
【開催回数】139回/年
【内容】介護予防拠点施設「はつらつ長寿館」を活用した介護予防事業。趣味活動や健康チェック、食事等のサービス提供により介護予防、閉じ籠り防止を図る
【指定管理者】花巻農業協同組合